



1学年たより VOL. 2



中間考査、2年次選択科目

1. 中間考査

5/16(金)、19(月)、20(火)の3日間、中間考査が実施されます。今回1年生は中間考査までの授業時数が少ない等の理由で、

現国・言文、数学Ⅰ、数学A、公共、生物基礎、英CⅠ、論表Ⅰ
の7つの考査が実施されます。(現国と言文はまとめて1つの考査になります)

(期末考査は11科目となり、2学期中間考査は9科目になる予定です。)

5月2日が考査2週間前で計画を立てて学習し考査に臨むように話をしました。GW中から十分に勉強を進めていることでしょう。本校では考査1週間前から部活動は活動休止となり、テスト勉強に専念することになります。上級生の様子を見るに、考査期間中の初日に実施される科目に対しては、取り組みが良いようですが、最終日または後半に実施される科目は準備が間に合っていないのではと思われる生徒を少なからず見かけます。計画的に学習に取り組み、間に合わなかったということがないようにしましょう。考査の準備期間中は平日で3時間以上、休日で8時間以上の学習時間を目安にしてください。もちろんそれ以上の時間勉強することは大いに良いことです。どの教科、科目でも内容を身につけることが重要ですので、繰り返しを意識して学習してください。

考査に合わせて、ノート提出や課題提出を課す教科が多くあります。それらは考査の結果とともに成績を出す上での重要な資料となりますので、必ず教科担当の指示通りに提出して下さい。提出期日に遅れた場合、減点対象になります。

2. 2年次選択科目

本校の進学実績は毎年大体、50～60％が大学/短大への進学、30～40％が専門学校への進学、5～10％程度が就職(公務員を含む)となっています。医療系に進学する生徒が毎年多くいて、地元の新潟病院付属看護学校、新潟医療福祉大学(新潟市)へは毎年多くの生徒が進学しており、上越市の県立看護大学へ進学する生徒が出る年もあります。

各自が希望する進路に向けて、高校生活を送っていくことは重要なことですが、中間考査後の5/22(木)LHR時に2年次の選択科目の説明会があります。その後6月中には各自が2年次の選択科目を決定することになっています。

2年次では、日本史探究、物理、生物から1科目を選択することとなっています。実はこの選択は3年次にも引き継がれるので、各自の進路決定に大きな影響が出ます。慎重に考えて臨んでください。

具体的に説明します。3年次に文系、理1型、理2型の3つのコースのいずれかを選択することになり、おおざっぱには以下のような進路希望で分けられます。

○文系

…文系の大学学部を志望人、専門学校志望する人、就職希望

○理1型(数Ⅲなし)

…医療系の大学・専門学校志望、農学・理学(生物/地学)系の大学志望

○理2型(数Ⅲあり)

…工学系、医歯薬系、理学系(数学/物理/化学)の大学志望

まだ希望進路が具体的に決まっていない人も多いでしょうが、前述したような例年の様子から、医療系を目指す人が一定数出るであろうことが予想されます。医療系の大学や専門学校を受験するためには(※基礎なしの)理科を必要とするケースが多く、日本史探究を選択してしまうと、3年間(基礎なし)理科を1つも履修できなくなることになりかねず、それによって進路希望を変更せざるを得ないことになるかもしれません。また、本校は推薦入試を利用する生徒が毎年多くいますが、(基礎なし)理科を履修していなかったため、医療系等の学部学科の推薦に値しないと判断されてしまう場合もあります。詳しくは、近々配布される「進路の手引き」を参照してください。

2年次の科目選択は重要なものですので、十分に考えて臨んでください。5月初旬から朝読書の時間を利用して、「進路の手引き」を読む時間を設ける予定です。こちらも有効に活用してください。〔※(基礎なし)理科とは2,3年次に学習する物理、生物、化学のことです。1年次は物理基礎と生物基礎を履修中〕

2年次		3年次	
物理	→	物理	(※)自動的に左のように継続されます
生物	→	生物	2年から3年で変更は認められて
日本史探究	→	日本史発展	おりません

ベネッセとリクルートで適性検査、適性診断を行いました(リクルートのものは、後日紙面での診断結果が来ます)。各自の興味・関心、能力のある分野、思考パターンなどから出てきた診断結果ですが、意外な結果が出てきたという人もいるかもしれません。その診断結果は自己理解において、十分参考になり得るのもですから、診断結果をもう1回見てみることを勧めます。また、興味のある職業分野があり、それについてもっと情報が欲しいという場合は、インターネットで手軽に検索することができます。タブレットを活用してください。

選択科目については、各自の興味関心のある科目を選択することが基本であり、日本史に強い興味関心のある人は選択すべきと思います。しかし、進路実現を念頭に置いて考えることもまた重要です。まだ希望進路は具体的には決まっていないが、医療系または農学系あるいは教育学部等の理系科目が必要になるかもしれないところへ進学する可能性がある人は十分に考えてください。

3. アサーション

4月15日(火)3限に特別支援教育コーディネーターの星野先生より、アサーションについて話がありました。アサーションとは自分も相手も大切にしたい自己表現やコミュニケーションの取り方で、生徒は新しい環境の中での人との関わり方について学んだ様子でした。

生徒の感想を記載します。

今回の話を聞いて、今の友達との境界線は、良くないものということを学ぶことができた。本当に、互いに安心できる心地よい人間関係を作っていくには、相手に変えてもらうだけではなく自分も変えていかないといけないということに気づくことができたと思う。今までの友達との関係で、お互いによく入りこんでいたので、これからは今回学んだ心の境界線を引くを意識して生活をしていきたい。

今回の授業を通じて、心の境界線を引くことの大切さやアサーション、アサーティブのことについて学ぶことができました。心の境界線とは、安心できる心地よい人間関係をつくるために必要なもので、互いに支え合ったり、互いがどう支えればいいのか分かっているようにするためのものとも言えるということだと分かりました。不健全な境界線の産物を絶対にしないようにこれから心がけていきます。アサーションとは、自分も相手も大切

にしたコミュニケーションのことで、相手も自分もすっきりするアサーティブになるには、自分の気持ちを確認することが大事だと分かりました。私がこれから心がけたいのは、DESC法です。D、描写する、E、表現する、S、特定の提案をする、C、選択する。この4つを使い方に気をつけながら使っていきたいです。心の境界線は、自分も相手にも必ずあり、それぞれ異なるので、しっかり相手と境界線をふみこまないように、いい関係を続けていけるようにこれから心がけていきたいと思いました。